「省エネワンランクアップ」掲げ支援

グラスウール断熱材「ポリカット」刷新

業界初 最低値R2.2のシリーズに

マグ・イゾベール

マグ・イゾベール（東京都、グレゴリー・リー社長）は、住宅用グラスウール断熱材10K100㍉の「ポリカット」シリーズをきょう21日から全面刷新する。10K100㍉品では日本のグラスウールメーカーとして初めて、熱抵抗値2・2平方㍍・K／Wを最低値とした製品シリーズを展開することになる。木造住宅向けで長年にわたって使用され、販売量が多いグラスウールの10K100㍉品の製品性能を底上げすることで、日本市場での住宅断熱の高性能化を促す狙いがある。同社ではさらに、断熱等性能等級4やZEH、HEAT20のG1～G3といったそれぞれの断熱性能基準に合わせた製品供給・支援体制を強化し、住宅分野の省エネ促進、ひいては、脱炭素社会の実現に貢献していく考えだ。

R2.2を最低値に製品展開する（ポリカット〈R2.2〉）

使いやすさも考慮

国は2050年のカーボンニュートラル実現を目指し、脱炭素社会に向け本格的にかじを切った。20年に予定されていた省エネ基準の義務化こそ見送られたが、住宅分野での一層の省エネ推進は喫緊の課題となっている。住宅の高断熱化は、省エネの大前提となるものだ。さらに、HEAT20のG3が登場するなど、住宅の高断熱化の流れは加速している。

一方で、省エネ基準で最低基準となる断熱等性能等級4に達していない住宅建設が依然として続いている。省エネ基準に習熟する中小工務店事業者は半数程度といわれ、未適合の工務店や住宅会社への支援が急がれている。

日本の木造住宅用断熱材市場でのグラスウールのシェアは高く、約4割を占める。なかでも10K100㍉品は、木造住宅用グラスウール需要の中心を占めており、出荷量も多いという。ポリカットの全面刷新は、こうした事情を背に10K100㍉品の製品性能の最低値を引き上げることで、木造住宅の断熱性能を底上げしていこうとする同社の挑戦でもある。

レベルごとに支援

同社ではポリカットの全面刷新を機に、住宅断熱への取り組みを「等級4」「ZEHとHEAT20のG1、G2」「HEAT20のG1、G2・2）」に変更するだけで、計算などの煩雑な作業をすることなく等級4に取り組むことができる。計算作業や仕様転換といった作業手間を軽減することもでき、住宅の高断熱化に伴うコスト負担を軽減できる点も、大きな利点となりそうだ。

「ZEHとHEAT20のG1、G2」を目指す顧客に対しては、高性能グラスウール「イゾベール」シリーズとともに、気密を含めた「一棟丸ごと」の総合提案をしていく。

イゾベールシリーズは、植物由来のバインダーを使用したノンホルの高性能グラスウール。防湿フィルム付きの「イゾベール・スタンダード」と、裸品の「イゾベール・コンフォート」の2品目の展開で、断熱ニーズに細かく対応している。

このほか同社では、「イゾベールバリオ」シリーズとして、調湿気密シート「イゾベールバリオ・エクストラセーフ」、気密テープ「イゾベールバリオKB1」「イゾベールバリオマルチテープSL」といった調湿・気密部材を販売している。日本のグラスウールメーカーで調湿提案ができるのは同社のみで、こうした強みを生かし、断熱、気密の双方を備えた住宅建設を後押ししていく。さらにそれぞれのニーズに合わせ、内容をカスタマイズした勉強会の開催などを進めていく。

「HEAT20のG3やパッシブハウス」を目指す顧客に対しては、同社が仲介役となり全国規模でのネットワークづくりを推進していく。全国の先進事例などの情報を共有することで、高性能な住宅建設に取り組みやすい環境を整備・支援していく取り組みだ。

同社はかねて、パッシブハウスに、グラスウールの吸音性能を生かした「音」、さらに「空気環境」に配慮した住宅コンセプトを打ち出し、「マルチ・コンフォート・ハウス」として展開してきた。こうした知見や実績も、これら支援に生かせると考えている。

行政にも働き掛け

今年2月、ユーチューブでライブ配信された内閣府のタスクフォースに同社が出演したことは記憶に新しい。同社はこのなかで、50年のカーボンニュートラル宣言の実現に本気で取り組むためには、今すぐにでも高い断熱性能の住宅を造る必要があるとし、そのための法規制の整備を訴えた。

現状では法整備がされているとはいえず、省エネ基準の義務化、さらには住宅の省エネ・高性能化を促す助成などの国の支援が必要であることを説明した。

同社では、自社で省エネ支援を強化する一方、行政にも省エネ支援を働き掛けるなど、両輪で住宅の省エネ普及・促進に取り組んでいる。

グラスウール施工に必要な副資材の展開も充実している（「イゾベールバリオ」シリーズ）

施工に欠かせない「グラスウールカッター」も好評だ

こんな支援も！

同社・明野工場の一角には、グラスウールの施工研修ができる「イゾベール・トレーニングセンター」と併設して、3坪ほどの広さの「体感ハウス」が設けられている。HEAT20G3相当のレベルを持ち、実際に断熱性能を肌で体験できる施設として利用されている。

明野工場でグラスウールの製造を見学し製品への理解を深めると同時に、体感ハウスで高断熱住宅を体感。イゾベール・トレーニングセンターで施工研修できる一気通貫の支援となっている。

断熱性能の高さを実際に体感できる

グラスウール業界初*1!!
10K100mm新ラインナップで
誰でも簡単に省エネ基準クリア

10K100mmは全て熱抵抗値2.2㎡·K/W以上に!

仕様基準で3地域以南の外壁クリア*2

*1硝子繊維協会に所属するグラスウールメーカーのWebサイトを基に当社にて実施した調査に基づきます
*2地域によって防露基準が異なりますので詳細はお問い合わせください

（435幅：黒印刷）

幅別で梱包の印刷色が変わります

（390幅：青印刷）

（475幅：緑印刷）

MAG
ISOVER SAINT-GOBAIN

マグ・イゾベール株式会社

商品に関するお問い合わせ
Tel.0120-941-390　Fax.0120-941-391
フリーコール受付時間 AM9:00～12:00／PM1:00～5:00 ※平日のみ